

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1493800591	実施年度	令和7年度
法人名	株式会社ピースウェーブ		
事業所名	グループホーム朝日のあたる家		
所在地	(224 - 0021) 横浜市都筑区北山田 2-8-14		
サービス種別	☒ 認知症対応型共同生活介護 ☒ 介護予防認知症対応型共同生活介護	定員	計 27 名
		ユニット数	3 ユニット
自己評価作成日	令和7年10月31日	評価結果 市町村受理日	令和7年12月8日

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	令和7年11月15日 10時～15時	場 所	グループホーム朝日のあたる家
-----	--------------------	-----	----------------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	2 人
	地域住民の代表者	3 人
	当該サービスに知見を有する者	2 人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1 人
事務局	管理者	1 人
	計画作成担当者	1 人
	介護従業者	2 人

4. 事業所の特徴

ご利用者を敬う姿勢とアットホームな事業所とするための方針「あったか介護」を常に念頭に置いてのケアを心がけております。

ご利用者の意思を尊重して、その人らしい生活を送っていただきたいと考えています。常にご利用者様目線でのケアが行えるよう、スタッフには指導・育成を行っています。

その他、自立支援を心掛けご利用者様の出来る事を奪わない・活躍の場を提供させて頂くよう努めています。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール＜あすか＞

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎朝、職員全員で理念を復唱し、意識を高めて介護等に実践できるよう取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域の行事に積極的に参加し関連事業所との交流はあったが、ボランティアの受け入れ、小学校の行事、交流会などを行えなかった。	「ハマロードサポーター」として利用者は、作業活動を行っていた。小中学校との交流やボランティアの受け入れは感染予防を徹底してできる限り実施していた。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員や地域住民、利用者様、ご家族など多数の方々に書面・対面等で参加していただき、意見交換を行い今後の課題とサービス向上に活かしている。	利用者、家族、町内会役員、民生委員、地区センター、包括センターをメンバーとし原則年4回開催してきた。コロナ禍で「活動状況報告」を郵送、メール&FAX 意見を求めており現状はそれの良いと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	市町村が主催している研修や講習会に積極的に参加している。徘徊ネットワークにも登録し、協力関係を結んでいる。	・都筑区高齢支援課には、運営推進会議録を送付し、事業の現状や活動の報告をしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束の指針、身体拘束委員会の設置も行った。関係機関(医師)も交えて、定期的に委員会を開催している。6月と12月に身体拘束と不適切ケアについての研修を実施。自己診断チェックにて理解度を数値化して習熟度チェックを実施している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・「身体拘束適正化に関する指針」に基づき、委員会を設置して3か月毎に会議を開催されている。。また「身体拘束と不適切ケアについて」のオンライン研修、自己診断熟度チェックなど実施され対策等徹底している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員の日頃の行動、面談による心身のストレスがないか聞き取りにより体調及び心身の状態を管理している。職員間の意見交換などで兆候を把握できる体制にある。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員の日々の行動を観察しており、更には面談による心身状況を把握して事前に虐待防止に至らないよう努めている。事業所風土も風通しが良く意見・意思疎通が出来ている。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リーダー会議やカンファレンス等でも取り上げ、必要性について学ぶ機会を持ち、外部研修にも参加している。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様や家族が安心して入居できるように、短期入所やディサービスによる体験入居も提供し、契約の際には事前に書面にて十分に理解していただいた上で締結している。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回家族会を開催し、要望や相談事など気軽に聞くことができるようにしている。また、家族会で出た話題をカンファレンスにて取り上げ話し合い共有している。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種委員会で職員の意見や提案を聞き改善策を検討して運営に反映している。職員の意見箱、ご家族の意見BOXを設置するなど幅広く意見を聞く機会を多く求めている。	
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リーダー会議、各ユニットのカンファレンスを月に1回以上行い、意見交換、改善策を話し合っている。カンファレンスでも出にくい言いにくいことも予想されるため、スタッフBOXを設置し代表者、管理者のみが閲覧できるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の為に資格取得の支援があり、向上心を持てるようにしている。人事考課制度にて面談を実施し、個々の面談の際に、評価内容の開示と説明を行い次期目標及び個人成果が反映されるシステムである。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・資格取得の補助金など職員が意欲的スキルアップできるように計画されており且資格取得に繋がっている。 ・人事考課制度にて職員と個々に面談を行い、評価内容の開示と説明をして職員が向上心を持って働けるように努めている。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修、外部研修に積極的に参加してもらい、研修結果をカンファ時に説明、職員間の共有を図ること、自身の振り返り、他職員の共通認識を進めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員の資質向上のため、行政資料による内部研修を実施し、外部研修受講者においては、研修内容をカンファレス時に職員間での共有も図って良くできている。	
13	同業者との交流を通じた 向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会の参加や研修を参加し、他の施設の良いところを参考にし、話し合いの質の向上に努めている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一方的な介護ではなくご利用者の 持っている能力に合わせ、洗濯た たみ、食事の準備等と一緒にしてい だしている。また人生の先輩である ご本人を常に敬う気持ちを持ち、接 し、信頼関係を築けるように努力して いる。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも気楽に立ち寄れるように配 慮している。感染症予防にも配慮し ており、面会など工夫をして関係継 続を支援している。	・家族を招いての事業所行事、地区セ ンターのコンサートへの参加などで、馴 染みの関係を支援してきている。5 類移 行以後の現在はイベント(夏祭り、クリ スマス会)を実施した。 ・5 類移行、時間制限などはあるが居室 面会も実施しており、関係の継続に努め ている。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いや入居前の暮らし方を尊 重し、出来るだけご本人の希望に沿 い戸惑わず穏やかな生活ができるよ うに支援している。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人らしく暮らすためにカンファ レンスでの職員の意見交換、ご本人、 ご家族の意向も考えながら介護計画 に反映している。	・介護計画は、医療関係者や本人、家 族の意見を聞き、カンファレンスにて職員 間で意見交換をして作成している。 ・計画は、アセスメントとカンファレンスや ケア記録を参考に 6 ヶ月毎に見直しをし ている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ADL・モニタリング、計画書ともに良くで きている。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子化された日誌、ケア記録で利用 者の日常の変化、様子を記録し、カン ファレンス、日々の申し送りの際に 確認している。問題点があれば全員 が共有し、相談をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子記録を導入されている。ことで職員 間の共有もはかれ見やすく記入も安易 にでき非常に良い。
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出・外泊・面会が自由 にできない時期があった。5 類移行 は時間を工夫しての面会再開、散歩 など可能な限り対応している。	時間制限、人数制限など工夫してご家族 と対面で面会できるように予防且柔軟 な支援が出来ている。オンライン面会シ ステムは非常に良くできている。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5 類に下がったって徐々に工夫しながら自治会や地域の方から施設内で行うイベントの資材調達などに尽力していただき日々楽しんで生活されている。	地域の方の協力もありイベント資材の提供など地域との接点を持ち活動している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族の希望を第一に利用者様の状況を見ながら主治医を決めていただき医療連携を併用しながら適切な医療が受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の医療機関にご家族と話し合いをして退院後の回復に努める。日頃から病院関係者の往診を受け情報交換をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入・退院もご家族、医療側との連携もとれ退院時期の情報など連携が図れている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス利用開始時に重度化対応及び終末期ケア指針、看取りケアについて確認事項等をご本人とご家族に説明し、意思確認と同意を得ています。必要となった際は再度、意思確認させて頂き医療連携を密にして、随時連絡・相談を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所時に本人と家族に「重度化介護指針」を説明し且つ看取希望者には「終末介護同意書」を交わし主治医、職員、家族と方針の統一と連携を図りそれを共有して支援されている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時に対応できるように定期的に CPR の実施、事故発生時の対応手順研修を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年 2 回、消防訓練を実施し、うち 1 回は消防署や水消火器を借り消防訓練を行っている。職員全員に非常時の誘導手順を周知している。	・火災、災害マニュアルのもと昼、夜間を想定した避難訓練を夜間帯に 1 回、地域の消防署の協力を得て年 2 回実施している。緊急対応の研修や安否確認システムの試行など緊急時に対する具体的な対策が取られている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・火災、防災マニュアルのもと、昼、夜間を想定し地域の方、消防署の協力得て防災訓練を実施されている。 ・職員の安否確認システムの試行など緊急事態に対する具体的な取り組みがされている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの理念を毎日朝礼時に読み上げ、常に丁寧に対応することを心掛けている。誇り、プライバシー保護の研修を全職員が受講し、日々の支援に活かしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者一人ひとりが自分らしく生活できるように、それぞれの個性や思いを尊重して対応されている。 ・プライバシー保護マニュアル、個人情報マニュアルがあり、研修もされている。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床から就寝までご本人のペースに合わせ職員が行動を把握しながら、日々楽しく過ごせるよう行事に参加していただき、ご本人の能力や意思を優先し過ごせるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好き嫌いを把握できた方については、健康上の問題がなければ好みのもにに変更して提供している。5 類移行後も予防のため職員が同じ食卓を囲むことはご遠慮させていただいているが、準備や片付けについてはご本人の希望に応じてお手伝いしていただいている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事が楽しみになるように利用者と一緒に献立を考え利用者個々の力を活かして食材を切ったり配膳、下膳などされている。 ・現状の外出は無理だが、ひな祭りなどイベントの際はケーキを手作りし今できることに取り組んでいる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量や排便などを見ながら一人ひとりの状態を把握し支援に努めている。日々の水分摂取量をデータ管理し水分を多く摂取していただいている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身でできる方については、食後に声掛けを行い、歯磨きや義歯の手入れを促している。ご自身でできない方については介助を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	独居との大きな違いで、訪問歯科も利用できる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮しながら、介助が必要な方に実施している。ご家族と相談しながら、自立に向けて排泄物品の変更や環境構築を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄時間記録をデータ化して利用者ごとの排泄パターンを把握しトイレのタイミングを支援している。 また本人の仕草を見て言葉をかけトイレ誘導の支援がされている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入浴はご利用者の希望・気分・体調に応じて清潔に保つように努めている。危険のないよう必要に応じて支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のご利用者様の生活歴に応じて、日中お休みいただく方もそのペースを尊重している。夜間は個々に空調や照明を調整して、安眠できるように支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のご利用者様の服薬内容がすぐに確認できるようにしている。医療と連携して、薬の作用と目的を理解し症状の変化が見られれば速やかに報告している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の服薬内容・情報を全員が把握しているのではなくベテラン～中堅の職員は対応できているが、新人と時短職員は理解も深まっている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や希望を伺い、無理のない範囲で役割をお願いしている。体を動かし、外気に触れる等の気分転換は日々行うよう支援している。	メリハリのある日常生活は重要です。必要とされていることを無理のない形で努力、実現されている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5 類移行後イベント企画で遠方への外出もご家族も同行していただき楽しんでいただいた。訪問客の少ない平日には園庭の草取り、声掛けをして近くの公園などに外出をする。	5 類移行後も予防に十分注意を払いあってもできることをしっかりとやられている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	物品の購入を希望される場合は事業所で立て替えることになっており、基本的に現金は所持されていませんが、日頃からお金をお持ちでないと落ち着かないご利用者には職員が管理や管理者が毎日把握しながら手元に持っておいて頂いている			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人作成の年賀状や手紙を書いていただいている。またライン電話で遠方のご家族やご友人とタブレット上で会話ができるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間移動されることの多い同線にはオレンジ色の蛍光灯を使用し安全且つ夜間でも安心感のある空間にしている。玄関横の花壇には季節の花や、野菜を植えリビングからは外の木々、花壇の花が見え、季節を感じられるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のことを考えて夜間の蛍光色の配慮など良い。また、園庭の花壇の植え替え水やりなど利用者のできる範囲で育てる意欲が感じられる。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望される時はライン電話を使い対面での会話をさせていただいている。手紙が届いた際はお渡しし、携帯電話をお持ちのご利用者には、適宜電源の確認を行い使い方についても相談している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントで得られた情報をもとに、職員の気づきを共有し現在の状況を理解し、家事や体操等にご参加いただけるよう声掛けを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に2回の訪問診療の実施、また週1回の訪問看護師による健康チェックの実施。必要に応じて、主治医の訪問診療・近隣への受診等対応させていただいている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訪問以外でも利用者の変化に気づき担当医への連絡、ご家族への相談(受診)など日々の変化を察し対応されている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントと日頃の生活スタイルとペースを職員が共有し、自由に寝起きをさせていただいている。昼間は活動していただき夜安眠できるようには促している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際に、ご本人やご家族と相談しながら使い慣れたものや馴染みのあるものを持ち込んでいただいている。ご本人の好みに合わせた配置をして、居心地よく過ごされるよう支援させていただいている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前ご自宅で使用していたものを受入れることでご利用者の安心に貢献している。慣れ親しんだものがそばにあることが安心感につながる支援が活かされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の意向、希望を聞き入れる努力をし、外出を希望する方には職員が同行するなど希望に応じて支援している。祭事についてもご本人の希望、ご家族のご要望に応じて対応している。	利用者の希望に応じた対応は良い。職員の負担はないか？など配慮している。負担の無い範囲で職員も一緒に楽しんで散歩に出かけている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常日頃、出来なくなってもチャレンジして頂いている。できない時は支援、わからなくなったら声かけなどで一緒にさせていただいている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ☒ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々なレクリエーションの実施、その方 が興味を持ちそうなレクを企画実施 させて頂いています。		A. ☒ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同世代と一緒に住むことで、お互いにわ かってもらえるメリットもあり、それも介 護や運営に活かされている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 充分にできている B. ☒ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様が散歩をする際に近隣を 散歩される方(犬の散歩)などと会 話をされる機会が多々ある。小学生 には特に話かけることがあり、地域 の方の理解もあり短時間ではあるが 交流と考えている。	ホームの側道を通ると元気な歌声が聞こ える。利用者の皆さんが元気に過ごして いるところも拝見しており、交流は行われ ていると感じている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 充分にできている B. ☒ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方との交流は 5 類移行予防 を含めあまりできていないが、散歩 の際に近隣の幼稚園時、児童と挨拶 を交わしたり、地域のイベントにも参 加して地域の一員として過ごすこと が出来ている。	認知症への対応が、社会的にオープン な話題になった。地域清掃(ハマロード) に参加してくれたころもあり、今後もコロ ン禍が収束したら交流を拡大していきたい。	A. ☒ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流は常日頃からあった。町 内会を含め地域での催しものにも参加 できるようになった。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール <やよい>

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎朝、職員全員で理念を復唱し、意識を高めて介護等に実践できるよう取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域の行事に積極的に参加し関連事業所との交流はあったが、ボランティアの受け入れ、小学校の行事、交流会などを行えなかった。	「ハムロードサポーター」として利用者は、作業活動を行っていた。小中学校との交流やボランティアの受け入れは感染予防を徹底してできる限り実施していた。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員や地域住民、利用者様、ご家族など多数の方々に書面・対面等で参加していただき、意見交換を行い今後の課題とサービス向上に活かしている。	利用者、家族、町内会役員、民生委員、地区センター、包括センターをメンバーとし原則年4回開催してきた。コロナ禍で「活動状況報告」を郵送、メール&FAX 意見を求めており現状はそれで良いと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	市町村が主催している研修や講習会に積極的に参加している。徘徊ネットワークにも登録し、協力関係を結んでいる。	・都筑区高齢支援課には、運営推進会議録を送付し、事業の現状や活動の報告をしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束の指針、身体拘束委員会の設置も行った。関係機関(医師)も交えて、定期的に委員会を開催している。6月と12月に身体拘束と不適切ケアについての研修を実施。自己診断チェックにて理解度を数値化して習熟度チェックを実施している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・「身体拘束適正化に関する指針」に基づき、委員会を設置して3か月毎に会議を開催されている。また「身体拘束と不適切ケアについて」の研修、自己診断種熟度チェックなど実施され対策等徹底している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員の日頃の行動、面談による心身のストレスがないか聞き取りにより体調及び心身の状態を管理している。職員間の意見交換などで兆候を把握できる体制にある。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員の日々の行動を観察しており、更には面談による心身状況を把握して事前に虐待防止に至らないよう努めている。事業所風土も風通しが良く意見・意思疎通が出来ている。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リーダー会議やカンファレンス等でも取り上げ、必要性について学ぶ機会を持ち、外部研修にも参加している。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様や家族が安心して入居できるように、短期入所やディサービスによる体験入居も提供し、契約の際には事前に書面にて十分に理解していただいた上で締結している。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回家族会を開催し、要望や相談事など気軽に聞くことができるようにしている。また、家族会で出た話題をカンファレンスにて取り上げ話し合い共有している。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種委員会で職員の意見や提案を開き改善策を検討して運営に反映している。職員の意見箱、ご家族の意見BOXを設置するなど幅広く意見を聞く機会を多く求めている。	
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リーダー会議、各ユニットのカンファレンスを月に1回以上行い、意見交換、改善策を話し合っている。カンファレンスでも出にくい言いにくいことも予想されるため、スタッフBOXを設置し代表者、管理者のみが閲覧できるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の為に資格取得の支援があり、向上心を持てるようにしている。人事考課制度にて面談を実施し、個々の面談の際に、評価内容の開示と説明を行い次期目標及び個人成果が反映されるシステムである。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・資格取得の補助金など職員が意欲的スキルアップできるように計画されており且資格取得に繋がっている。 ・人事考課制度にて職員と個々に面談を行い、評価内容の開示と説明をして職員が向上心を持って働けるように努めている。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修、外部研修に積極的に参加してもらい、研修結果をカンファ時に説明、職員間の共有を図ること、自身の振り返り、他職員の共通認識を進めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員の資質向上のため、行政資料による内部研修を実施し、外部研修受講者においては、研修内容をカンファレス時に職員間での共有も図っていて良くできている。	
13	同業者との交流を通じた 向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会の参加や研修に参加し、他の施設の良いところを参考にし、話し合いの質の向上に努めている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一方的な介護ではなくご利用者様の 持っている能力に合わせ、洗濯た たみ、食事の準備等を一緒にしてい だしている。また人生の先輩である ご本人を常に敬う気持ちを持ち、接 し、信頼関係を築けるように努力して いる。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	いつでも気楽に立ち寄れるように配 慮している。感染症予防にも配慮し ており、面会など工夫をして関係継 続を支援している。	・家族を招いての事業所行事、地区セ ンターのコンサートへの参加などで、馴 染みの関係を支援してきている。5 類移 行以後の現在はイベント(夏祭り、クリ スマス会)を実施した。 ・5 類移行、時間制限などはあるが居室 面会も実施しており、関係の継続に努め ている。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人の思いや入居前の暮らし方を尊 重し、出来るだけご本人の希望に沿 い戸惑わず穏やかな生活ができるよ うに支援している。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人らしく暮らすためにカンファレ ンスでの職員の意見交換、ご本人、 ご家族の意向も考えながら介護計画 に反映している。	・介護計画は、医療関係者や本人、家 族の意見を聞き、カンファレンスにて職員 間で意見交換をして作成している。 ・計画は、アセスメントとカンファレンスや ケア記録を参考に 6 ヶ月毎に見直しをし ている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・ADL・モニタリング、計画書ともに良くで きている。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	電子化された日誌、ケア記録で利用 者の日常の変化、様子を記録し、カ ンファレンス、日々の申し送りの際に 確認している。問題点があれば全員 が共有し、相談をしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	電子記録を導入されている。ことで職員 間の共有もはかれ見やすく記入も安易 にでき非常に良い。
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々にも生れる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出・外泊・面会が自由 にできない時期があった。5 類移行 は時間を工夫しての面会再開、散歩 など可能な限り対応している。	時間制限、人数制限など工夫してご家族 と対面で面会できるように予防且つ柔軟 な支援が出来ている。オンライン面会シ ステムは非常に良くできている。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5 類に下がって徐々に工夫しながら自治会や地域の方から施設内で行うイベントの資料調達などに尽力していただき日々楽しんで生活されている。	地域の方の協力もありイベント資料の提供など地域との接点を持ち活動している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族の希望を第一に利用者様の状況を見ながら主治医を決めていただき医療連携を併用しながら適切な医療が受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の医療機関にご家族と話し合いをして退院後の回復に努める。日頃から病院関係者の往診を受け情報交換をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入・退院もご家族、医療側との連携もとれ退院時期の情報など連携が図れている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス利用開始時に重度化対応及び終末期ケア指針、看取りケアについて確認事項等をご本人とご家族に説明し、意思確認と同意を得ています。必要となった際は再度、意思確認させて頂き医療連携を密にして、随時連絡・相談を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所時に本人と家族に「重度化介護指針」を説明し且つ看取り希望者には「終末介護同意書」を交わし主治医、職員、家族と方針の統一と連携を図りそれを共有して支援されている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時に対応できるように定期的に CPR の実施、事故発生時の対応手順研修を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年 2 回、消防訓練を実施し、うち 1 回は消防署や水消火器を借り消火訓練を行っている。職員全員に非常時の誘導手順を周知している。	・火災、災害マニュアルのもと昼、夜間を想定した避難訓練を夜間帯に 1 回、地域の消防署の協力を得て年 2 回実施している。緊急対応の研修や安否確認システムの試行など緊急時に対する具体的な対策が取られている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・火災、防災マニュアルのもと、昼、夜間を想定し地域の方、消防署の協力得て防災訓練を実施されている。 ・職員の安否確認システムの試行など緊急事態に対する具体的な取り組みがされている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの理念を毎日朝礼時に読み上げ、常に丁寧に対応することを心掛けている。誇り、プライバシー保護の研修を全職員が受講し、日々の支援に活かしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者一人ひとりが自分らしく生活できるように、それぞれの個性や思いを尊重して対応されている。 ・プライバシー保護マニュアル、個人情報マニュアルがあり、研修もされている。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床から就寝までご本人のペースに合わせ職員が行動を把握しながら、日々楽しく過ごせるよう行事に参加していただき、ご本人の能力や意思を優先し過ごせるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好き嫌いを把握できた方については、健康上の問題がなければ好みのもにに変更して提供している。5 類移行後も予防のため職員が同じ食卓を囲むことはご遠慮させていただいているが、準備や片付けについてはご本人の希望に応じてお手伝いさせていただいている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事が楽しみになるように利用者と一緒に献立を考え利用者個々の力を活かして食材を切ったり配膳、下膳などされている。 ・現状の外出は無理だが、ひな祭りなどイベントの際はケーキを手作り今できることに取り組んでいる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量や排便などを見ながら一人ひとりの状態を把握し支援に努めている。日々の水分摂取量をデータ管理し水分を多く摂取していただいている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身でできる方については、食後に声掛けを行い、歯磨きや義歯の手入れを促している。ご自身でできない方については介助を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	独居との大きな違いで、訪問歯科も利用できる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮しながら、介助が必要な方に実施している。ご家族と相談しながら、自立に向けて排泄物品の変更や環境構築を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄時間記録をデータ化して利用者ごとの排泄パターンを把握しトイレのタイミングを支援している。 また本人の仕草を見て言葉をかけトイレ誘導の支援がされている。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入浴はご利用者の希望・気分・体調に応じて清潔に保つように努めている。危険のないよう必要に応じて支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のご利用者様の生活歴に応じて、日中お休みいただく方もそのペースを尊重している。夜間は個々に空調や照明を調整して、安眠できるように支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のご利用者様の服薬内容がすぐに確認できるようにしている。医療と連携して、薬の作用と目的を理解し症状の変化が見られれば速やかに報告している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の服薬内容・情報を全員が把握しているのではなくベテラン～中堅の職員は対応できているが、新人と時短職員は理解も深まっている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や希望を伺い、無理のない範囲で役割をお願いしている。体を動かし、外気に触れる等の気分転換は日々行うよう支援している。	メリハリのある日常生活は重要です。必要とされていることを無理のない形で努力、実現されている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5 類移行後イベント企画で遠方への外出もご家族も同行していただき楽しんでいただいた。訪問客の少ない平日には園庭の草取り、声掛けをして近くの公園などに外出をしている。	5 類移行後も予防に十分注意を払いあってもできることをしっかりとやられている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	物品の購入を希望される場合は事業所で立て替えることになっており、基本的に現金は所持されていませんが、日頃からお金をお持ちでないと落ち着かないご利用者には職員が管理や管理者が毎日把握しながら手元に持っておいて頂いている			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人作成の年賀状や手紙を書いていただいている。またライン電話で遠方のご家族やご友人とタブレット上で会話ができるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間移動されることの多い同線にはオレンジ色の蛍光灯を使用し安全且つ夜間でも安心感のある空間にしている。玄関横の花壇には季節の花や、野菜を植えリビングからは外の木々、花壇の花が見え、季節を感じられるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のことを考えて夜間の蛍光色の配慮など良い。また、園庭の花壇の植え替え水やりなど利用者のできる範囲で育てる意欲が感じられる。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望される時はライン電話を使い対面での会話をさせていただいている。手紙が届いた際にはお渡しし、携帯電話をお持ちのご利用者には、適宜電源の確認を行い使い方についても相談している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントで得られた情報をもとに、職員の気づきを共有し現在の状況を理解し、家事や体操等にご参加いただけるよう声掛けを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に2回の訪問診療の実施、また週1回の訪問看護師による健康チェックの実施。必要に応じて、主治医の訪問診療・近隣への受診等に対応させていただいている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訪問以外でも利用者の変化に気づき担当医への連絡、ご家族への相談(受診)など日々の変化を察し対応されている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントと日頃の生活スタイルとペースを職員が共有し、自由に寝起きをさせていただいている。昼間は活動していただき夜安眠できるように促している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際に、ご本人やご家族と相談しながら使い慣れたものや馴染みのあるものを持ち込んでいただいている。ご本人の好みに合わせた配置をして、居心地よく過ごされるよう支援させていただいている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前ご自宅で使用していたものを受入れることでご利用者の安心に貢献している。慣れ親しんだものがそばにあることが安心感につながる支援が活かされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の意向、希望を聞き入れる努力をし、外出を希望する方には職員が同行するなど希望に応じて支援している。祭事についてもご本人の希望、ご家族のご要望に応じて対応している。	利用者の希望に応じた対応は良い。職員の負担はないか？など配慮している。負担の無い範囲で職員も一緒に楽しんで散歩に出かけている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常日頃、出来なくなってもチャレンジしていただいている。できない時は支援、わからなくなったら声かけなどで一緒にさせていただいている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々なレクレーションの実施、その方 が興味を持ちそうなレクを企画実施 させて頂いています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同世代と一緒に住むことで、お互いにわ かってもらえるメリットもあり、それも介 護や運営に活かされている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様が散歩をする際に近隣を 散歩されいる方(犬の散歩)などと会 話をされる機会が多々ある。小学生 には特に話かけることがあり、地域 の方の理解もあり短時間ではあるが 交流と考えている。	ホームの側道を通ると元気な歌声が聞こ える。利用者の皆さんが元気に過ぎて いるところも拝見しており、交流は行われ ていると感じている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方との交流は 5 類移行予防 を含めあまりできていないが、散歩 の際に近隣の幼稚園時、児童と挨拶 を交わしたり、地域のイベントにも参 加して地域の一員として過ごすこと が出来ている。	認知症への対応が、社会的にオープン な話題になった。地域清掃(ハマロード) に参加してくれたこともあり、今後もコロ ン禍が収束したら交流を拡大していきたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流は常日頃からあった。町 内会を含め地域での催しものにも参加 できるようになった。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール <やまと>

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎朝、職員全員で理念を復唱し、意識を高めて介護等実践できるよう取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域の行事に積極的に参加し関連事業所との交流はあったが、ボランティアの受け入れ、小学校の行事、交流会などを行えなかった。	「ハマロードサポーター」として利用者は、作業活動を行っていた。小中学校との交流やボランティアの受け入れは感染予防を徹底してできる限り実施していた。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員や地域住民、利用者様、ご家族など多数の方々に書面・対面等で参加していただき、意見交換を行い今後の課題とサービス向上に活かしている。	利用者、家族、町内会役員、民生委員、地区センター、包括センターをメンバーとし原則年4回開催してきた。コロナ禍で「活動状況報告」を郵送、メール&FAX意見を求めており現状はそれで良いと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	市町村が主催している研修や講習会に積極的に参加している。徘徊ネットワークにも登録し、協力関係を結んでいる。	・都筑区高齢支援課には、運営推進会議録を送付し、事業の現状や活動の報告をしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束の指針、身体拘束委員会の設置も行った。関係機関(医師)も交えて、定期的に委員会を開催している。6月と12月に身体拘束と不適切ケアについての研修を実施。自己診断チェックにて理解度を数値化して習熟度チェックを実施している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・「身体拘束適正化に関する指針」に基づき、委員会を設置して3か月毎に会議を開催されている。。また「身体拘束と不適切ケアについて」の研修、自己診断種熟度チェックなど実施され対策等徹底している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員の日頃の行動、面談による心身のストレスがないか聞き取りにより体調及び心身の状態を管理している。職員間の意見交換などで兆候を把握できる体制にある。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員の日々の行動を観察しており、更には面談による心身状況を把握して事前に虐待防止に至らないよう努めている。事業所風土も風通しが良く意見交換・意思疎通が出来ている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リーダー会議やカンファレンス等でも取り上げ、必要性について学ぶ機会を持ち、外部研修にも参加している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様や家族が安心して入居できるように、短期入所やディサービスによる体験入居も提供し、契約の際には事前に書面にて十分に理解していただいた上で締結している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回家族会を開催し、要望や相談事など気軽に聞くことができるようにしている。また、家族会で出た話題をカンファレンスにて取り上げ話し合い共有している。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種委員会で職員の意見や提案を聞き改善策を検討して運営に反映している。職員の意見箱、ご家族の意見BOXを設置するなど幅広く意見を聞く機会を多く求めている。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リーダー会議、各ユニットのカンファレンスを月に1回以上行い、意見交換、改善策を話し合っている。カンファレンスでも出にくい言いにくいことも予想されるため、スタッフBOXを設置し代表者、管理者のみが閲覧できるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の為に資格取得の支援があり、向上心を持てるようにしている。人事考課制度にて面談を実施し、個々の面談の際に、評価内容の開示と説明を行い次期目標及び個人成果が反映されるシステムである。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・資格取得の補助金など職員が意欲的スキルアップできるように計画されており且資格取得に繋がっている。 ・人事考課制度にて職員と個々に面談を行い、評価内容の開示と説明をして職員が向上心を持って働けるように努めている。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修、外部研修に積極的に参加してもらい、研修結果をカンファ時に説明、職員間の共有を図ること、自身の振り返り、他職員の共通認識を進めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員の資質向上のため、行政資料による内部研修を実施し、外部研修受講者においては、研修内容をカンファレンス時に職員間での共有も図っていて良くできている。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会の参加や研修に参加し、他の施設の良いところを参考にし、話し合いの質の向上に努めている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一方的な介護ではなくご利用者様の 持っている能力に合わせ、洗濯た たみ、食事の準備等を一緒にしてい だしている。また人生の先輩である ご本人を常に敬う気持ちを持ち、接 し、信頼関係を築けるように努力して いる。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも気楽に立ち寄れるように配 慮している。感染症予防にも配慮し ており、面会など工夫をして関係継 続を支援している。	・家族を招いての事業所行事、地区セ ンターのコンサートへの参加などで、馴 染みの関係を支援してきている。5 類移 行以後の現在はイベント(夏祭り、クリ スマス会)を実施した。 ・5 類移行、時間制限などはあるが居室 面会も実施しており、関係の継続に努め ている。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いや入居前の暮らし方を尊 重し、出来るだけご本人の希望に沿 い戸惑わず穏やかな生活ができるよ うに支援している。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人らしく暮らすためにカンファレ ンスでの職員の意見交換、ご本人、 ご家族の意向も考えながら介護計画 に反映している。	・介護計画は、医療関係者や本人、家 族の意見を聞き、カンファレンスにて職員 間で意見交換をして作成している。 ・計画は、アセスメントとカンファレンスや ケア記録を参考に6ヶ月毎に見直しをし ている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ADL・モニタリング、計画書ともに良くで きている。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子化された日誌、ケア記録で利用 者の日常の変化、様子を記録し、カン ファレンス、日々の申し送りの際に 確認している。問題点があれば全員 が共有し、相談をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子記録を導入されている。ことで職員 間の共有もはかれ見やすく記入も安易 にでき非常に良い。
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々にも生じる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出・外泊・面会が自由 にできない時期があった。5 類移行 は時間を工夫しての面会再開、散歩 など可能な限り対応している。	時間制限、人数制限など工夫してご家族 と対面で面会できるように予防且つ柔軟 な支援が出来ている。オンライン面会シ ステムは非常に良くできている。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5 類に下がって徐々に工夫しながら自治会や地域の方から施設内で行うイベントの資材調達などに尽力していただき日々楽しんで生活されている。	地域の方の協力もありイベント資材の提供など地域との接点を持ち活動している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族の希望を第一に利用者様の状況を見ながら主治医を決めていただき医療連携を併用しながら適切な医療が受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の医療機関にご家族と話し合いをして退院後の回復に努める。日頃から病院関係者の往診を受け情報交換をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入・退院もご家族、医療側との連携もとれ退院時期の情報など連携が図れている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス利用開始時に重度化対応及び終末期ケア指針、看取りケアについて確認事項等をご本人とご家族に説明し、意思確認と同意を得ています。必要となった際は再度、意思確認させて頂き医療連携を密にして、随時連絡・相談を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所時に本人と家族に「重度化介護指針」を説明し且つ看取希望者には「終末介護同意書」を交わし主治医、職員、家族と方針の統一と連携を図りそれを共有して支援されている。。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時に対応できるように定期的に CPR の実施、事故発生時の対応手順研修を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年 2 回、消防訓練を実施し、うち 1 回は消防署や水消火器を借り消防訓練を行っている。職員全員に非常時の誘導手順を周知している。	・火災、災害マニュアルのもと昼、夜間を想定した避難訓練を夜間帯に 1 回、地域の消防署の協力を得て年 2 回実施している。緊急対応の研修や安否確認システムの試行など緊急時に対する具体的な対策が取られている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・火災、防災マニュアルのもと、昼、夜間を想定し地域の方、消防署の協力得て防災訓練を実施されている。 ・職員の安否確認システムの試行など緊急事態に対する具体的な取り組みがされている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの理念を毎日朝礼時に読み上げ、常に丁寧に対応することを心掛けている。誇り、プライバシー保護の研修を全職員が受講し、日々の支援に活かしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者一人ひとりが自分らしく生活できるように、それぞれの個性や思いを尊重して対応されている。 ・プライバシー保護マニュアル、個人情報マニュアルがあり、研修もされている。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床から就寝までご本人のペースに合わせて職員が行動を把握しながら、日々楽しく過ごせるよう行事に参加していただき、ご本人の能力や意思を優先し過ごせるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好き嫌いを把握できた方については、健康上の問題がなければ好みのものに変更して提供している。5 類移行後も予防のため職員が同じ食卓を囲むことはご遠慮させていただいているが、準備や片付けについてはご本人の希望に応じてお手伝いしていただいている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事が楽しみになるように利用者と一緒に献立を考え利用者個々の力を活かして食材を切ったり配膳、下膳などされている。 ・現状の外出は無理だが、ひな祭りなどイベントの際はケーキを手作りし今できることに取り組んでいる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量や排便などを見ながら一人ひとりの状態を把握し支援に努めている。日々の水分摂取量をデータ管理し水分を多く摂取していただいている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身でできる方については、食後に声掛けを行い、歯磨きや義歯の手入れを促している。ご自身でできない方については介助を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	独居との大きな違いで、訪問歯科も利用できる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮しながら、介助が必要な方に実施している。ご家族と相談しながら、自立に向けて排泄物品の変更や環境構築を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄時間記録をデータ化して利用者ごとの排泄パターンを把握しトイレのタイミングを支援している。 また本人の仕草を見て言葉をかけトイレ誘導の支援がされている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入浴はご利用者の希望・気分・体調に応じて清潔に保つように努めている。危険のないよう必要に応じて支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のご利用者様の生活歴に応じて、日中お休みいただく方もそのペースを尊重している。夜間は個々に空調や照明を調整して、安眠できるように支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のご利用者様の服薬内容がすぐに確認できるようにしている。医療と連携して、薬の作用と目的を理解し症状の変化が見られれば速やかに報告している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の服薬内容・情報を全員が把握しているのではなくベテラン～中堅の職員は対応できているが、新人と時短職員は理解も深まっている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や希望を伺い、無理のない範囲で役割をお願いしている。体を動かし、外気に触れる等の気分転換は日々行うよう支援している。	メリハリのある日常生活は重要です。必要とされていることを無理のない形で努力、実現されている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5 類移行後イベント企画で遠方への外出もご家族も同行していただき楽しんでいただいた。訪問客の少ない平日には園庭の草取り、声掛けをして近くの公園などに外出をしている。	5 類移行後も予防に十分注意を払いあつてもできることをしっかりとやられている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	物品の購入を希望される場合は事業所で立て替えることになっており、基本的に現金は所持されていませんが、日頃からお金をお持ちでないと落ち着かないご利用者には職員が管理や管理者が毎日把握しながら手元に持っておいて頂いている			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人作成の年賀状や手紙を書いていただいている。またライン電話で遠方のご家族やご友人とタブレット上で会話ができるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間移動されることの多い同線にはオレンジ色の蛍光灯を使用し安全且つ夜間でも安心感のある空間にしている。玄関横の花壇には季節の花や、野菜を植えリビングからは外の木々、花壇の花が見え、季節を感じられるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のことを考えて夜間の蛍光色の配慮など良い。また、園庭の花壇の植え替え水やりなど利用者のできる範囲で育てる意欲が感じられる。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望される時はライン電話を使い対面での会話をさせていただいている。手紙が届いた際にはお渡しし、携帯電話をお持ちのご利用者には、適宜電源の確認を行い使い方についても相談している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントで得られた情報をもとに、職員の気づきを共有し現在の状況を理解し、家事や体操等にご参加いただけるよう声掛けを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に2回の訪問診療の実施、また週1回の訪問看護師による健康チェックの実施。必要に応じて、主治医の訪問診療・近隣への受診等対応させていただいている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訪問以外でも利用者の変化に気づき担当医への連絡、ご家族への相談(受診)など日々の変化を察し対応されている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントと日頃の生活スタイルとペースを職員が共有し、自由に寝起きをさせていただいている。昼間は活動していただき夜安眠できるように促している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際に、ご本人やご家族と相談しながら使い慣れたものや馴染みのあるものを持ち込んでいただいている。ご本人の好みに合わせた配置をして、居心地よく過ごされるよう支援させていただいている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前ご自宅で使用していたものを受入れることでご利用者の安心に貢献している。慣れ親しんだものがそばにあることが安心感につながる支援が活かされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の意向、希望を聞き入れる努力をし、外出を希望する方には職員が同行するなど希望に応じて支援している。祭事についてもご本人の希望、ご家族のご要望に応じて対応している。	利用者の希望に応じた対応は良い。職員の負担はないか?など配慮している。負担の無い範囲で職員も一緒に楽しんで散歩に出かけている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常日頃、出来なくなってもチャレンジしていただいている。できない時は支援、わからなくなったら声かけなどで一緒にさせていただいている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々なレクリエーションの実施、その方 が興味を持ちそうなレクを企画実施 させて頂いています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同世代と一緒に住むことで、お互いにわ かってもらえるメリットもあり、それも介 護や運営に活かされている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様が散歩をする際に近隣を 散歩される方(犬の散歩)などと会 話をされる機会が多々ある。小学生 には特に話かけることがあり、地域 の方の理解もあり短時間ではあるが 交流と考えている。	ホームの側道を通ると元気な歌声が聞こ える。利用者の皆さんが元気に過ごして いるところも拝見しており、交流は行われ ていると感じている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方との交流は 5 類移行予防 を含めあまりできていないが、散歩 の際に近隣の幼稚園時、児童と挨拶 を交わしたり、地域のイベントにも参 加して地域の一員として過ごすこと が出来ている。	認知症への対応が、社会的にオープン な話題になった。地域清掃(ハマロード) に参加してくれたこともあり、今後もコロ ン禍が収束したら交流を拡大していきたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流は常日頃からあった。町 内会を含め地域での催しものにも参加 できるようになった。

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム朝日のあたる家

作成日 2024年12月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	25	感染症発生時の業務継続計画見直し	感染症発生時（BCP）のマニュアルの見直し	感染症発生時の早期に判断・対応ができるようにマニュアルと見直し後、実施研修を実施する。	2026年6月30日
2					
3					
4					
5					

注1）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注2）項目数が足りない場合は、行を追加すること。